

会議結果報告書

令和6年4月12日

会議の名称	令和5年度第2回 舞鶴市図書館協議会	
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 附属機関 <input type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和6年3月22日(金) 13時30分～15時15分	
開催場所	舞鶴市役所 612会議室	
出席者	舞鶴市図書館協議会委員 9名 事務局 7名	
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の事業実績について ・令和6年度の事業計画について ・図書館基本計画に基づく図書館再編の進捗状況について ・その他 	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	7名	
審議結果 及び 主な意見等	会議録(抄録)のとおり	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		

担当課	舞鶴市 生涯学習部 図書館課 TEL (0773) 68 - 9221
-----	--

令和5年度 第2回舞鶴市図書館協議会 記録（抄録）

日時：令和6年3月22日（金）

13時30分～15時15分

会場：舞鶴市役所 612会議室

< 1. 議事 >

(1) 開会

(2) 図書館協議会 議事

議題① 令和5年度の事業実績について

議題② 令和6年度の事業計画について

議題③ 図書館基本計画に基づく図書館再編の進捗状況について

(3) 閉会

< 2. 会議録 >

(1) 開会 (13時30分)

(2) 図書館協議会 議事

議題①～③について事務局から説明

*質問や意見は以下のとおり

① [議題] 令和5年度の事業実績について

・貸出状況についての報告がなかった。年度は終わっていないが、2月末までの実績を昨年と比較できればよかったと思う。

・バリアフリー映画会について、参加者35名のうち障害をおもちの方の割合はどのくらいか。

→ 事務局より

付き添いの方や図書館ご利用の方々もご来場いただいたので、半々くらいであった。

・従来とは異なるサービスを、外部と連携して実施されているのが良い。今後につなげてほしい。

・各課との連携が進み、学校支援がしっかり行われている。電子図書館は子どもたちに活用されているし、先生方に対しても資料の提供があり、ありがたいと感じている。

・広報は新着図書の案内が主になっているように感じる。

・ワークショップの熱量や雰囲気などがわかるような発信の仕方を工夫し、参加していない方にも雰囲気が伝わるとよいと思う。

・図書館のホームページも整理して、レファレンスのデータなどを蓄積したり、SNSでも発信したりしてほしい。

- ・幼児、小学生対象の事業が多い。中学生に対しても資料提供だけでなく、もっと寄り添った事業を増やしていければよいのではないか。
- ・公民館との連携が必要だと思う。
- ・外部との連携の中で様々な業務をやっている。大変だと思うが、将来の夢のために少しずつ進んでもらいたい。放課後児童クラブなどへの支援もお願いしたい。

② [議題]令和6年度の事業計画について

- ・学校との連携について、市立小中学校の生徒のほか、高校生に対してはどうか。
- ・他市から来ている高校生もいる。社会とのつながりが大切になってくる年代への支援についても一文ほしいところである。

③ [議題]図書館基本計画に基づく図書館再編の進捗状況について

【ワークショップについて】

- ・ワークショップは、20代の参加がもう少しあれば良かったが、男女比率のバランスも良く、最後まで参加された方が多くあったのも良かったと思う。
- ・議論の時間が少ないという意見もあったようだが、ファシリテーターのリードが良く、議論が深まったからだと思う。
- ・ワークショップでは、いろんな意見が出ていたが、95%の意見は実現可能だと感じた。
- ・全ワークショップに参加した。図書館に対しての批判的な意見もあったが、図書館愛にあふれる人が多かった。
- ・今後、10代20代にターゲットを絞って宣伝してはどうか。図書委員へのアプローチなど、一工夫できるといいと思う。
- ・ワークショップは楽しかった。
- ・「人を批判しない」「みんなの時間を保証しよう」をみんなが守れたのが良かったと思う。
- ・1回だけワークショップを傍聴した。ファシリテーターの技術が素晴らしかった。また、新しい図書館に積極的に興味がある人が集まっておられて、具体的な意見を聞くことができ、協力者を発掘できたと思うので、やって良かったのではないか。
- ・ワークショップで出された意見について、今後、反映できたところを発信し、アピールしていくと、理解も深まるのではないか。
- ・ワークショップでは回数を重ねるごとに、図書館に対する思いが高まって意見が出されたと思うので、それらが、実現可能な提案として市民に広がっていくと良いと思う。
- ・ワークショップで「東図書館を残してほしい」と言っている方があり、自分が悪いことをしているような気持ちでした。しかし、いろんなものを備えた図書館を、将来の子どもたちのために作るのだ、前に進んでいくのだという思いでいる。

【中央図書館と分館のあり方について】

- ・東分館が「まなびあむ」では小さすぎるのではないか。また、東地区の子どもや高校生は中央図書館まで行けないのではないだろうか。

- ・東・西の問題は避けられないと思うが、東図書館を利用している人の「あの空間でなければならぬ」というニーズがどの程度あるのか知りたい。
 - ・市民の約 90%は図書館を使っていないということが最大の問題だ。いい図書館には人が集まる。
 - ・移動手段は、タクシーチケット、コミュニティバス、送迎ボランティアなどの工夫で担保できるだろう。
 - ・中央館ができた後に、その利用の多さから分館ができる事例もある。
 - ・これまでの手続きに瑕疵はないと自信を持って言える。「西か東か」では議論が戻ってしまう。
 - ・使っていない人たちにもっと使ってもらい、親しみをもってもらいたいということだ。ありとあらゆる手を使って、利用を増やしていくということしかない。
 - ・東図書館をよく利用する方々に、ひとりひとり思いを聞いてはどうか。
- 事務局より
- 4月中旬から少人数規模での意見交換会を実施していきたいと考えている。

- ・新中央館開館まで、できることをどんどんやっていって、改善を積み重ねてつないでいければ良いと思う。
- ・新しい図書館には司書の数が必要だ。
- ・地域や保護者の方を巻き込んでほしい。
- ・新聞の投稿欄には、図書館に批判的な意見がある一方で、建設的な意見も出ているが、それらの意見に図書館内でどのような話し合いが出来ているのか、どう考えておられるのかなど、また機会があれば聞かせて欲しい。

【基本設計について】

- ・基本設計ができるまで、どのような計画になっているか。市民にはどれくらい周知されるのか。
- 事務局より
- 基本設計の期間は半年程度を見込んでおり、この間には 3 回程度ワークショップを開き、市民の意見を聞いて設計に取り込む作業を繰り返す予定である。
- ・施設、設備の面では、ワークショップで求められていることはほぼ満たせるのではないだろうか。
 - ・一方で、司書の人数は大丈夫か、増やした方がいいのではないかという意見があったように、図書館を支える組織や予算が心配なところだと感じている。
 - ・社会的課題を抱えている方々を支援できる、寄り添える図書館であってほしい。

(3) 閉会 (15時15分)

令和5年度 第2回舞鶴市図書館協議会 出席者名簿

所 属	氏 名	役 職
舞鶴市図書館協議会	池内 紀代子	
	大田 恵子	
	川嶋 公貴	
	櫻井 雅子	
	常世田 良	副会長
	中川 幾郎	会長
	中西 明子	
	西村 説子	
	村川 広美	
舞鶴市市民文化環境部 文化スポーツ室 図書館課	福田 伸一	市民文化環境部長
	三方 理江	文化スポーツ室長
	山本 達也	図書館課長
	中田 理恵	図書館再編推進係長
	竹之内 英子	東図書館長兼児童博物館長
	西躰 朋子	西図書館長
	柴田 麻夕	西図書館主事

欠席

所 属	氏 名	役 職
舞鶴市図書館協議会	小林 由美	